

令和7年度第3回ふなばし市民大学校運営協議会会議録

(令和8年4月30日作成)

1 開催日時

令和8年3月26日(木) 午前10時00分～午前11時00分

2 開催場所

ふなばし市民大学校 7階 第2教室

3 出席者

(1) 委員

高山委員(会長)、石川委員(副会長)、村尾委員、岡委員、川田委員、石山委員、松丸委員

(2) 事務局

社会教育課長、社会教育課主査、社会教育課主任主事

(3) その他

ふなばし市民大学校事務局(公益財団法人船橋市公園協会)

事業部参与、市民大学校事業課長、市民大学校事業課主幹、市民大学校事業課副主査、市民大学校事業課嘱託職員2名、市民大学校事業課準職員3名

4 欠席者 山本委員、宇都宮委員

5 議題及び公開・非公開の別並びに非公開の場合にあつては、その理由

(1) 令和7年度修了生について 公開

(2) 令和8年度応募状況について 公開

(3) 令和8年度カリキュラムについて 公開

(4) 特別講座大人のための大学活用法コースの実施報告について 公開

(5) まちづくり学部修了生へのアンケートについて 公開

(6) その他 公開

6 傍聴者数 0人

7 決定事項

(1) 令和7年度修了生について、質疑応答及び意見聴取を行った。

(2) 令和8年度応募状況について、質疑応答及び意見聴取を行った。

(3) 令和8年度カリキュラムについて、質疑応答及び意見聴取を行った。

(4) 特別講座大人のための大学活用法コースの実施報告について、質疑応答及び意見聴取を行った。

(5) まちづくり学部修了生へのアンケートについて、質疑応答及び意見聴取を行った。

8 議事

次のとおり

9 資料・特記事項

(1) 傍聴者配布用資料

別添のとおり

(2) 特記事項

今回は、令和8年7月から8月頃に開催予定です。開催場所等は、後日お知らせします。

10 問い合わせ先

船橋市教育委員会 生涯学習部 社会教育課 庶務施設係

047-436-2892

午前10時00分開会

○高山会長

それでは、ただいまより令和7年度第3回ふなばし市民大学校運営協議会を開会いたします。

まず、本日の出席状況について、事務局から報告願います。

○事務局（社会教育課主査）

本日の出席状況を報告いたします。本日、ふなばし市民大学校運営協議会委員9名に対し、7名の出席をいただいております。山本委員、宇都宮委員につきましては、欠席される旨の連絡をいただいておりますので、報告いたします。

○高山会長

ありがとうございます。

次に、会議の公開及び傍聴人について、事務局から報告願います。

○事務局（社会教育課主査）

次に、会議の公開について報告いたします。船橋市情報公開条例第26条の規定に基づき、設置する附属機関及びこれに準ずるものの会議は原則として公開することになっております。本日もこれに基づき原則公開となります。また、船橋市附属機関等の会議の公開実施要綱に基づき、会議終了後おおむね1週間以内に会議概要を公表し、その後、個々の委員の発言内容も含めまして審議経過等が明らかになるように会議録を作成し、委員名簿も含めて市のホームページで公表いたします。そのため、本日は会議を録音させていただきますことをご了承ください。

続きまして、傍聴人について報告いたします。本日、傍聴の受付をいたしましたが、傍聴希望はございませんでした。

○高山会長

ありがとうございました。

それでは、議事に移ります。本日の議題は、お手元に配付した次第のとおり、議題1「令和7年度修了生について」、議題2「令和8年度応募状況について」、議題3「令和8年度カリキュラムについて」、議題4「特別講座大人のための大学活用法コースの実施報告について」、議題5「まちづくり学部修了生へのアンケートについて」、議題6「その他」とし、この順で進めたいと思っておりますけれども、よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○高山会長

ありがとうございます。

それでは、議事に入ります。

議題1「令和7年度修了生について」、ふなばし市民大学校事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（市民大学校事業課長）

では、議題の1「令和7年度修了生について」、報告いたします。資料1「令和7年度ふなばし市民大学校在籍者数」をご覧ください。

令和7年度は、令和7年4月27日に市民文化ホールで入学式を行い、まちづくり

学部86名、いきいき学部215人の合計301人が入学しました。定員に対する倍率や充足率は記載のとおりです。充足率は平成16年度の開校以来過去最低となりました。なお、充足率については、令和7年度第1回の運営協議会にて、定員に対する実際の入学数や在籍者数がどれくらいの割合になるかという定員の充足率についても示したほうがよいのではないかというご意見をいただきまして追加をしております。令和8年度についても、入学者が確定する次回の運営協議会でお示しし、報告をいたします。

各学科のカリキュラムに基づき、年度を通して授業を実施し、令和8年3月8日に勤労市民センターで修了式を行い、289名の方が修了いたしました。市民文化ホールが大規模改修工事中のため、勤労市民センターでの実施となりましたが、ルームアドバイザーやルームサポーターの皆さんの協力もあり、無事に実施することができました。修了者数は令和6年度と比べて43人の減少となっております。

退学者数は12名となっております。在籍者率、修了率と言ってもいいかもしれませんが、96.01%となっております。これは過去2番目に高い数値で、退学者数が少なかったということになります。今年度の退学の理由で最も多かったものが、体調不良で7名となっております。

議題の1「令和7年度修了生について」、報告は以上となります。

○高山会長

ありがとうございました。

ただいまの議題1「令和7年度修了生について」、質問等がありましたらお願いいたします。特段よろしいですか。

それでは、議題1を終了いたします。

続きまして、議題2「令和8年度応募状況について」の議事に入ります。事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（市民大学校事業課長）

それでは、議題の2「令和8年度応募状況について」、説明いたします。資料2-1「令和8年度ふなばし市民大学校出願状況一覧（一次募集）」をご覧ください。

例年、一次募集は結構な紙面を割いて掲載いただけるのですけれども、令和7年12月1日号の「広報ふなばし」に掲載をしまして、同日より受付を開始しました。令和8年1月20日消印有効まで募集したものの集計で、一次募集は合計で334人の応募がありました。一次募集の段階で、この倍率が1.00を超えているもの、ふなばしマイスター学科と、カリキュラムの見直しをしましたパソコン学科の3と4、この3つの学科で定員を超える申込みがありましたので1月29日に公開にて抽選会を行いました。

資料2-2「令和8年度ふなばし市民大学校一次募集 公開抽選会結果」の資料をご覧ください。1月29日の抽選会当日には、高山会長、石川副会長にもお越しいただきまして、くじ引き及び抽選記録の作成をお願いいたしました。

ここで定員を超えた学科は、抽選にて入学、補欠、落選を決定しております。申込者数334人に対して、入学決定が317人、補欠が15人、落選が2人となりました。その結果を2月10日に応募者へ発送しまして、定員に空きのある学科について

は二次募集を行いました。

続きまして、資料2-3「ふなばし市民大学校 二次募集のご案内」をご覧ください。二次募集のお知らせは令和8年2月15日号の「広報ふなばし」などに掲載し、同日より受付を開始、3月5日消印有効で受付を行いました。昨年度は二次募集の記事が紙面の都合上小さかったのですが、今年度は学科の日時や人数を載せていただきました。この資料2-3の案内ですが、こちらについては一次募集で補欠及び落選となった方へ、出願結果の通知と併せて同封をしたお知らせになります。

続きまして、資料2-4「令和8年度ふなばし市民大学校出願状況一覧(二次募集)」をご覧ください。二次募集は令和8年2月15日から3月5日まで消印有効で行いまして、申込者数の下のところ、122名の申込みがありました。

左下の注意書きをご覧いただきたいのですが、この資料の一番左側の「(a) 最終募集人数」は、資料2-3に記載した募集人数に一次募集で入学を辞退した方の人数を加えているため増えております。そして、最終募集人数を超える申込みのあった倍率が1.00を超えている生涯学習コーディネーター養成学科、くらしの教養学科1、こころとからだの健康学科1及び2、パソコン学科1及び2、園芸学科2の7学科について、3月12日に公開にて抽選会を行いました。

資料2-5「令和8年度ふなばし市民大学校学生二次募集 公開抽選会結果」をご覧ください。3月12日の抽選会には、石川副会長、村尾委員にもお越しいたぎまして、くじ引き及び抽選記録の作成をお願いいたしました。

二次募集全体で見ますと、申込者数122名に対し、入学決定が95人、補欠が25人、落選が2人となりました。なお、二次募集の抽選結果につきましては、3月25日に応募者へ発送しております。

最後に、資料2-6をご覧ください。こちらの資料は、一次募集と二次募集を合計した出願状況になります。申込者数が456人で、これは令和7年度の341人と比べると115人の増加となりました。一次募集、二次募集を合計しますと、入学の決定者が412人、補欠が40人、落選が4人となっております。平均年齢ですが、まちづくり学部が67.5歳、いきいき学部が70.7歳と、令和7年度の応募と比較しますと、まちづくり学部が0.7歳高く、いきいき学部も0.2歳高くなっております。

また、以前は対象が市内在住だけだったのですが、令和7年度学生募集から対象を市内在勤・在学に拡大しております。令和8年度応募に関しては市内在勤・在学の出願も6名ございました。

令和7年度の応募者が少なく懸案となっていましたスポーツコミュニケーション学科やパソコン学科も、曜日の変更やカリキュラムの見直しにより、多くの方にお申込みをいただくことができました。また、どの学科も全体的に申込みが増えました。これは、少しでも多くの人に知ってもらおうと、いろいろな媒体を活用して多角的に広報活動をした成果ではないかと考えております。申込時のアンケートの分析を進めまして、次年度についても、引き続き効果的な周知方法を検討してまいります。

議題の2「令和8年度応募状況について」の報告は以上となります。

今後は、4月6日の週から各学科のオリエンテーションが始まります。そして、4

月26日（日）に、勤労市民センターで開催する入学式をもって入学者数が確定いたしますので、令和8年度の入学者の状況につきましては、令和8年度第1回の運営協議会で報告をさせていただきます。

報告は以上です。

○高山会長

ありがとうございました。

ただいまの議題2「令和8年度応募状況について」、質問等がございましたらお願いいたします。

どうぞ、岡委員。

○岡委員

今年度は昨年度に比べて申込者数が百十何名増えているということで、その要因としては広報に大きく掲載されたということが一つあるのかなと思いますけれども、それ以外に何か要因はあるのでしょうか。

○事務局（市民大学校事業課長）

3つございまして、1つ目が、まずカリキュラムをよりよいものに見直したということです。パソコン学科については、今年度1クラス出願者が15名に満たず開講できなかったのですが、そこは早急に手を打とうということで見直しを図ったところです。

2つ目としまして、例年申込者数が少ないスポーツコミュニケーション学科については、ターゲット層が参加しやすい日時に曜日・時間を設定し直したというところがあるかと思います。

3つ目は、広報活動です。ほかの学科も全体的に申込者数が伸びておりますので、幅広く広報することが重要ではないかということで、令和7年度募集の応募状況が3月にでて、5月には社会教育課と協議して、どんなことができるかということで洗い出しをしまして、いろいろな広報媒体があると思うのですが、例えば「My Fun a」ですとか「ちいき新聞」ですとか、そういったものを媒体に使うかどうかとか、駅のコンコースなどにポスターを貼ったらとか、いろいろな案がでました。

その中で、できることはお互いやっていきましょう、できる範囲で、できることはやっていきましょうということで、いろいろ広報を実施しました。

具体的には、今までやっている事業の拡大としては、都市計画課で所管しています「みんなの掲示板」という掲示板が駅の近くにあるのですが、その設置の箇所を増やしたり、パンフレットの納品が11月中旬ぐらいにあるので、社会教育課に相談をしまして、早めに市民大学校に配架してみました。例年12月1日からパンフレットや入学案内・願書を配り始めて、願書はみんな持っていきますが、パンフレットは12月1日に配架とすると結構余ってしまい、もったいないなという思いを抱いていました。そうすると、今年度はもう既に余りがない。また、パンフレットだけだとちょっと目立たないので、ポップをつけてみました。気づいてもらえるかなと思ひまして、いろいろつくってみたら、結構持っていく人が増えたなという印象があります。

あとは、11月中旬から学生募集のパネルを6階・7階の市民大のフロアのエレベーターホールに設置しました。小さいのですが、変更があったところ、スポーツコミ

コミュニケーション学科は日時が変わりましたとか、パソコン学科は新しいクラスができました、というものをつけています。あとは、締め切りが迫ってきたときには、ビジュアルマークみたいなものをつけて目立つように設置をしてみたというようなところもございます。

また、広報活動ではないのですが、学部学科説明会で修了生による講話をしていただきました。まちづくり学部、いきいき学部を代表してお一人ずつ、ふなばし市民大学校の魅力ですとか、現在の活動へのつながりなどを実体験を通してお話しいただく機会を設けてみました。

それから、新規で実施したものとしては、9月27日に市民まつりで、船橋市公園協会のブースを設けていますので、そこに市民大のパンフレット、昨年度のものですが配りました。あとは学生募集のチラシを作成しまして、修了生団体にご協力いただき、船橋市いきいき同窓会の10月の会報、船橋市スポーツと健康を推進する会の会報に同封させていただいたり、船橋市コーディネーター連絡協議会の「一番星通信」の発行のときに、「市民大学校の窓」という記事のコーナーがあるので、そこで学生募集の呼びかけをさせていただいたというところもございます。

あとは、デジタルサイネージです。市役所の本庁舎のロビー、1階から3階エレベーターホールのデジタルサイネージですとか、船橋駅の歩道橋、それから京葉銀行とかイオンモールのデジタルサイネージに載せていただいたりしました。また環境政策課が実施しているエコカレッジの修了生に願書を配布させていただきました。

それから、ふなばし情報メールです。これは結構反響があったのかなと思うのですが、メールやLINEを登録していると市からお知らせが届くというものです。一次募集も二次募集も発信したので、こういったお知らせですとか、あとは市の職員用のポータル掲示板への掲示です。これは令和7年度も掲示しているのですが、二次募集の段階で案内をしたら、市の職員がスポーツコミュニケーション学科に申し込んでくれたという事例がありましたので、実施しました。そのほか、庁内放送等々いろいろ実施しました。

あとは、ルームアドバイザー、ルームサポーター、事務局職員による個別の案内です。令和8年度応募者アンケートを分析する中で、「知人からの紹介」と回答している方が11%程度、まだデータのチェックをしていないので正確な数字ではないですが、11%ぐらいは口コミなのかなと考えております。こういった口コミの影響も大きいので、ルームアドバイザー、ルームサポーターに積極的に声かけしていただけたのかなと考えております。

○岡委員

ありがとうございます。引き続き、来年度も同じようなPR活動をぜひお願いします。

○事務局（市民大学校事業課長）

はい。今回はできることを全部するという感じでしたが、今後はあまり効果のないことは実施してもしょうがないので、どれが効果的だったのかを分析して、効果のあるものは継続していきたいと思っています。

○高山会長

今言われたように、地道なPR活動で令和7年度より115名増えたというのは本当に大きいですね。本当に皆さんのPRのおかげだと思います。

ほかに何か質問ありますか。

それでは、議題2を終了いたします。

続きまして、議題3「令和8年度カリキュラムについて」の議事に入ります。事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（市民大学校事業課主幹）

議題3「令和8年度のカリキュラムについて」、報告いたします。資料3-1から説明しますので、よろしくお願いいたします。

令和8年度のふなばし市民大学校のカリキュラムにつきましては、令和7年度のカリキュラムを基にしながら、カリキュラム編成会議での委員からの助言や、学生からのアンケート等を考慮しまして作成をしております。

それでは、まちづくり学部のカリキュラムから報告いたします。

まずは、ボランティア養成学科からでございます。ボランティア養成学科のカリキュラムは令和7年度と大きな変更はございません。基礎的な知識を夏までに受講し、夏の間ボランティア体験を行うという流れは維持しつつ、受講する学生が地域の活動に目が向く内容となるよう工夫しております。また、「実習受入団体プレゼンテーション」というカリキュラムでは、もともとその団体の活動にはあまり関心のなかった学生が、団体のプレゼンテーションを聞いて興味を引かれ参加するという事例もあるほか、実習の参加をためらっていた学生が積極的な学生に引っ張ってってもらえるなど、学生同士のコミュニケーションが円滑になるきっかけにもなっている様子で、今後も充実、継続してまいりたいと思っております。

続きまして、スポーツコミュニケーション学科について説明いたします。先ほど説明があったように、スポーツコミュニケーション学科の大きな変更としましては、開催曜日と時間を月曜日の夜から土曜日の午前中に変更しまして、主な講座会場も市民大学校とさせていただきます。

スポーツコミュニケーション学科のカリキュラムは、令和8年度も引き続きまして、日本パラスポーツ協会公認の初級パラスポーツ指導員資格の取得と専門学科の二本柱で授業を進めてまいります。授業内容につきましては、令和7年度と内容の変更はございません。また、2月に実施する市民向けイベントの企画運営を重視したカリキュラムを維持しながら、イベントの準備の方法、話合いの仕方、会議の進め方などの学習を継続して実施していきます。

令和7年度は学生が大変少ない状況でありまして13名だったのですが、市民向けイベントでは前年の参加者数を上回る結果を残すことができました。令和8年度は学生の数も大幅に増えましたので、活気あるカリキュラムとなるよう取り組んでいきます。

続きまして、生涯学習コーディネーター養成学科について説明させていただきます。

生涯学習コーディネーター養成学科につきましても、事業内容に大きな変更はございませんが、No.26の「生涯学習と地域づくり」を新設し、なぜ生涯学習コーディネーターが必要とされているかを専門的な内容で講義いたします。

また、No.10の「～船橋の生涯学習を知る～ 現場を知る」でございますが、修了生から、現場の話が役に立ったので講義時間を増やしてほしいという希望がありまして、2時間の講義を設定しております。

また、令和7年度は「初めてのZoom」というオンライン会議を学ぶ講義があったのですが、コロナ禍を経ることでZoomを使った経験のある方も多くなってまいりまして、初めてZoomを利用する学生との兼ね合いが難しいため、Zoomの授業は削除しております。

生涯学習コーディネーター養成学科のカリキュラムについては以上です。

続いて、ふなばしマイスター学科のカリキュラムでございます。ふなばしマイスター学科につきましては、令和8年度は授業の実施の順番を整理したほか、研究内容のアウトプットを重視しまして、プレゼンの仕方等、講師と連携し、充実したカリキュラム等を考えております。また、講師の事情により一部のカリキュラムの順番を変更する予定ですが、学習内容に支障が出ないように対応してまいります。

まちづくり学部のカリキュラムについては以上です。

続いて、いきいき学部のカリキュラムについて報告いたします。

最初に、くらしの教養学科についての説明です。くらしの教養学科の令和8年度の変更について、主な2点の説明をいたします。

1点目は、No.31「演劇体験」を新たに追加いたします。演劇体験では、演劇を実際に体験することで表現の楽しさを知る授業となります。多くの市民の皆様と親しんでいただいているアンデルセン公園のこども美術館を使用して実施いたします。ふだん演劇は中学生以下しか参加できませんが、授業でこども美術館を使用することで、大人の方でもこども美術館を利用できることを知っていただく機会になればと期待しております。

2点目、「気功と3Q体操」という授業がございましたが、授業の評価は高かったものの、後で述べますところとからだの健康学科と授業内容が重複しておりましたので、学科の差別化を図る意味で削除をしております。

主な2点について説明させていただきました。

続いて、ところとからだの健康学科です。ところとからだの健康学科につきましては、令和8年度の変更点として、陶芸が非常に人気なのですが、陶芸では高台付けと釉薬の時間に余裕を持たせるために、授業を1回増やしまして、今まで8回だったものを9回の実施としました。それに合わせて、座学の講義回数を調整するため、No.29の「ロープワークを楽しもう」を追加して、フィールドワークの楽しさを学んでいただきます。

また、音楽を楽しむ分野では、類似した内容の講義を整理するため、「ウェルネス・リズム・ムービング」といったものを削除し、新しくNo.31「フレイル予防 脳トレと体操」を追加いたしました。

また、令和7年度は6月に実施していたNo.21の「ウォークラリーを楽しもう」ですが、令和8年度は、暑さの影響を考慮しまして10月の開催に変更しております。

ところとからだの健康学科は以上でございます。

続いて、パソコン学科の説明をさせていただきます。パソコン学科につきましては、

令和8年度は、これまでと同様の初心者向けクラスを2つ、新設のクラスを2つといたしました。新設のクラスでは、エクセルの学習の後、パワーポイントについての授業を計画しており、新設学科の修了作品については、データにて仕上げられるよう、内容を詰めていきたいと考えております。

最後に園芸学科です。園芸学科1につきましては、カリキュラムに大きな変更はございませんが、事業の実施時間につきまして、夏の猛暑が年々厳しくなっているため、令和7年度に、7月から9月まで行っていた授業を1時間早めるサマータイムを令和8年度は6月から9月に拡大して導入することといたします。サマータイムにつきましては、令和6年度から実施しておりましたが、学生からも朝早いほうが活動しやすいという声もございまして、効果があったものと考えております。また、授業会場についても、夏は可能な限り公民館等、温度管理ができる会場にて授業ができるよう改善します。

続いて、園芸学科2です。園芸学科2につきましてもカリキュラムに大きな変更はございませんが、令和7年度のカリキュラムを踏襲しつつ、講座数が他の学科と比べ少なめであったことから、No. 4「園芸基礎」及びNo. 7「はじめての苔玉」の講座を新たに増やしています。また、育てるだけでなく花を楽しむ内容を増やしたいため、フラワーボックスなどワークショップ形式のものを3講座分追加し、準備を進めております。また、園芸1と同様、猛暑対策として一部の授業を公民館等に会場変更して実施いたします。

令和8年度のカリキュラムについては以上でございます。

○高山会長

ありがとうございました。

ただいまの議題3「令和8年度カリキュラムについて」の資料3-1について、質問等があったらよろしくお願ひします。

○石山委員

生涯スポーツ課、石山でございます。

スポーツコミュニケーション学科につきましては、充足率が低かったところを様々な工夫をし、上げていただきまして誠にありがとうございました。カリキュラムにつきましても、曜日を変えたり時間を変えたりと工夫をしていただきまして、ありがとうございました。今後もニーズを捉えつつ魅力あるカリキュラムにしていただければ、また修了生たちが船橋市のスポーツの担い手になっていただければと思っておりますので、引き続きどうぞよろしくお願ひいたします。

○高山会長

ありがとうございました。

ほかに何かございますか。

○事務局（市民大学校事業課主幹）

では、続きまして、資料3-2「令和8年度ふなばし市民大学校他学科聴講受入講座一覧」と、3-3「他学科聴講制度 申請から受講までの流れ」について説明いたします。

令和7年度第1回運営協議会でご案内しておりました他学科聴講の運用について

説明いたします。

本制度は、ふなばし市民大学校における学びの機会をさらに広げ、異なる学部も含めた受講生同士の交流を促進することを目的として新たに設けたものです。これまで学生は自分が所属する学科の講座のみを受講しておりましたが、この制度を導入することにより、一定の条件の下、他の学科の講座も聴講できるようになります。いきいき学部の学生がまちづくり学部の講座を体験的に受講し、修了後の地域活動や次年度以降の入学につなげることを目的としております。

続いて、資料の3-2で4ページにわたっているのですが、4学科のカリキュラムに星印がついている講義が他学科聴講の対象講座です。資料の3-2の最初にまとめておりますので、そちらで説明させていただきます。

資料3-2の1ページ目の資料でございますが、No.16からNo.18に令和8年度の共通講座を記載しておりますが、会場であるきららホールの収容人数の都合上、共通講座の他学科聴講の受入れは厳しいため、実施しない予定でございます。

資料3-3で他学科聴講の申請の流れということをお案内させていただいておりますが、講座開催時期の前月15日までに申込みをいただきまして、事務局にて定員確認を実施しまして、超過した場合は抽選とします。結果は月末までにメール等で通知し、受講決定者が当日講座を聴講する流れとなります。

最後、資料3-4ということでお示しさせていただいておりますが、「ふなばし市民大学校授業見学実施案について」でございます。現在、入学希望者に対して、入学の募集時（12月）に学部学科説明会を実施しておりますが、それぞれの学部学科の説明や修了後の活動紹介をしておりますが、実際の授業の雰囲気を感じてもらう機会は設けておりません。そこで、次年度の募集から、入学希望者に対し授業見学の実施を検討しております。大まかな内容は資料のとおりとなりますが、12月1日からの募集開始に合わせて講座の一部を見学してもらおうと思っております。受入れ可能な講座の選定、また、人数や時間の設定等についての詳細は、今後検討を進めてまいります。

また、入学希望者の見学受入れについては12月に限定して実施する予定ですが、関係機関、関係団体からの見学の依頼につきましては、これまでと同様、常時、申し出であった場合に、授業運営に支障が出ないように見学受入れ体制を整えて対応してまいります。

議題3につきましては以上です。

○高山会長

ありがとうございました。

ただいまの一連の説明に対しまして、何か質問等がありましたら。

他学科聴講制度というのは令和7年度も実施していましたよね。実績等は何かありますか。

○事務局（市民大学校事業課主幹）

令和7年度にいきいき学部の共通講座、年3回あったもののうち2回で他学科聴講を実施しておりますが、2回目の10月の講座の参加者数が4人、3回目の講座の参加者数が3人でした。参加者があまり多くなくて、PR不足というのもあったかと思

います。令和8年度からは共通講座の会場がきららホールになってしまいまして、300人に満たない会場になりますので、そちらにまちづくり学部の学生の興味がある方の受入れは難しいかと思ひまして、いったん取りやめる方向でまいりたいと思ひます。

○高山会長

ありがとうございました。ほかに何かございますか。

カリキュラムの点で、生涯学習コーディネーター養成学科、土曜日も入っていますね。金曜日と土曜日の変更で、この辺は何か。

○事務局（市民大学校事業課主幹）

講師の都合というのがありまして、基本、各学科の曜日と時間は固定になっているのですが、講座の中では若干変更もござひます。

○高山会長

ほかに特段ござひませんか。

それでは、議題3を終了いたします。

続きまして、議題4「特別講座大人のための大学活用法コースの実施報告について」の議事に入ります。事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（市民大学校事業課主幹）

それでは、議題4について説明させていただきます。資料の4になります。「特別講座～大人のための大学活用法コース～の実施報告について」、説明いたします。項目1から6のコースの目的や日時・対象などについては、前回の運営協議会の中で既に報告させていただいておりますので、今回は項目7以降を説明させていただきたいと思ひます。

項目7の申込者について、11月15日から12月16日までの1か月間、受講者を募集したところ、17名から申込みがござひまして、全てオンライン申請でござひました。

講座を知ったきっかけについて、一番多かったものが、「広報ふなぼし」で47%、次いで「講座のチラシ」が23%、「講座のポスター」が12%、「知人からの紹介」が6%、「その他」が12%となっております。

年代分布はグラフのとおりで、40代から60代を中心に幅広い年代の方が参加されました。

今回の講座も市外の方の参加がござひまして、居住地域別では市内の方が15名、市外の方が1名の参加になりました。市外の方1名は八千代市の方です。各回の出席状況は、表のとおりでござひます。

各回の受講生の評価は、10の問1の表のとおりでござひまして、授業の満足度に関しては、毎回の授業でのアンケートの延べ件数で、「とてもよかった」が80%、「よかった」が13%、「普通だった」が7%でござひます。毎回受講生から講義内容等についてコメントをいただいております。「とても参考になりました。ありがとうございました」というお声もありつつも、「先生に背中を押された気がします。多分スタートを切ると思ひます」と、大学院進学ということでござひますが、「ありがとうございました」といったような声もござひました。最終日に、この講座を通して感じたことや、

今後どのように進学や大学院受験に取り組むかなど、参加者一人ずつが感想を述べ合うというような和気あいあいとした雰囲気です。授業が終わりました。

資料に戻りまして、10の問2以降は、最終日に行った参加者アンケートの結果となります。授業料、講座の開始時間、講義の時間についてお伺いしまして、授業料については「適切だと思う」が67%、「もう少し高くてもよい」が25%と、授業料に見合った内容であったと評価をいただけたのではと考えております。「もう少し安くないと不満」という回答をされている方が1人おりますが、今後より魅力的な社会人の学び直しに関するテーマの選択や授業内容の充実を図りたいと考えております。講座の開始時間や講義の長さは、「ちょうどよい」と回答した方がどちらも最も多く、このアンケートの結果を踏まえ、現状の講義時間を継続していく予定でございます。

最後に、授業料の納入ですが、コンビニでの収納を行えるようになりまして、利便性が高いと大変ご好評をいただいております。

議題4につきましての説明は以上となります。

○高山会長

ありがとうございました。

ただいまの議題4「特別講座大人のための大学活用法コースの実施報告について」、質問等がありましたらお願いいたします。

特段よろしいですか。

それでは、議題4を終了いたします。

続きまして、議題5「まちづくり学部修了生へのアンケートについて」の議事に入ります。事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（市民大学校事業課長）

それでは、議題5「まちづくり学部修了生へのアンケートについて」、報告いたします。資料5、まちづくり学部修了生アンケート集計結果をご覧ください。

こちらは令和6年度のまちづくり学部修了生に対して実施したアンケートになります。調査目的は、まちづくり学部は、まちや地域に関心を持ち、自分に合ったボランティア活動につながる知識や技術の習得を目指すことを目的として設置をしておりますが、修了後にどのようなボランティア活動を行っているかという修了後の活動状況を把握するために実施したものでございます。

調査期間は記載のとおりで、修了後すぐに実施したのでは、活動につながっていない方も多いものと考えまして、半年後を目途に実施をいたしました。修了生90名に対して郵送にてアンケート用紙を送付する方法で実施し、66件の回答がありましたので、回答率は73.3%、学科の内訳は問1のとおりでございます。

問2では、修了してから現在までの地域活動の状況について伺っています。「地域で活動を続けられている」と回答した方が50件で75.8%、「一時期は地域で活動していた」と回答した方が1件で1.5%、合計すると77.3%の方が何らかの活動につながられているというアンケート結果になりました。一時期活動していたという1件の方ですが、この方は子育ての関係で、お休みをしていますというような内容でした。

今回、回答のなかった方もいらっしゃいますが、修了生90人のうち、この50件

に1件を足した51人から「活動している」、「活動していた」と回答がございましたので、半数以上の方が何かしらの活動につなげることができているということが言えると思います。

2ページ目には、修了時に行ったアンケート結果をつけております。修了の時点では「検討中」という回答をした方も、半年後にはある程度活動につなげられているという傾向があると思われまます。

続いて、問3では、活動先についてお伺いしております。表を見ますと6の「その他」が一番多いのですが、これは選択肢の1から4以外の団体を回答したものをまとめている関係で多く見えています。団体として最も回答が多かったものが、生涯学習コーディネーター連絡協議会で17件、次いで町会・自治会、社会福祉協議会・地区社会福祉協議会、スポーツと健康を推進する会と続きますが、スポーツと健康を推進する会の数が少ないのは、スポーツコミュニケーション学科の学生の人数が少ない影響があると思われまます。「その他」には、船橋地名研究会、手と手の会、船橋SLネットワークといった団体がございました。

続きまして、問4、活動のきっかけについてお伺いしております。まちづくり学部では、市民活動団体の紹介やマッチングを授業に多く取り入れていることから、「市民大学校の授業」と回答した数が圧倒的に多くなっております。

問5では、地域での活動には至っていない、活動を考えていないと回答された方に、その理由を伺っています。「どのような活動に向いているかわからない」という回答が最も多くなりました。授業の中でも、興味のある分野やご自身の特技などを活かせる分野から挑戦していただければというような話をさせていただいておりますが、今後も最初の一步を踏み出す後押しができるようなカリキュラムを心がけていきたいと考えております。

議題5の説明は以上です。

○高山会長

ありがとうございました。

ただいまの議題5「まちづくり学部修了生へのアンケートについて」、質問等がありましたらお願いいたします。

どうぞ、松丸委員。

○松丸委員

問3の「6. その他」は、市民活動団体ということによろしいでしょうか。

○事務局（市民大学校事業課長）

「その他」を見ますと、市民活動団体だけではない、例えば、公民館のサークルのようなものを入れている人もいますので、純然にそれが市民活動団体とは言えないです。

○松丸委員

団体とのマッチングをしていると思うのですが、そういった団体も含まれていますか。

○事務局（市民大学校事業課長）

はい、入っています。マッチングをしている団体も入っていて、船橋地名研究会もですが、NPO法人ちばMDエコネット、アースドクターふなばし、NPO法人こび

すくらぶ、コミュニティカフェひなたぼっこなど、参加していただいている団体が数は少ないですけれども、記載がございました。

○高山会長

そのほか何かございますか。

当然、活かされると思いますけれども、まちづくり学部のアンケート結果なんかも、次年度の学生募集に使えるようなデータとか資料があったら、どんどん使っていったらどうかと思います。

ほかに何かございますか。特段よろしいですか。

それでは、議題5を終了いたします。

続きまして、議題6「その他」について、何か事務局からありましたら、よろしくをお願いします。

○事務局（社会教育課主査）

今回は特にございません。

○高山会長

それでは、以上で本日の議事は全て終了しました。今回の全ての議事の中で何か質問等がありましたらお受けします。特段よろしいですか。

それでは、これをもちまして質疑を終了いたします。

本日の議事は全て終了いたしました。本日の議事録の署名は村尾委員にお願いしたいと思います。

○村尾委員

はい。

○高山会長

以上をもちまして、令和7年度第3回ふなばし市民大学校運営協議会を閉会いたします。

午前11時00分閉会